

最初に自立させなければならぬ協会は湯沢町観光協会。年間、町から8300万円を繰り入れを減らすことが町の急務のはず。

第009号 2016/12/20



並木としひこ後援会

DoncoWeb



070-2155-3047
http://donco.jp
toshi@snow.co.jp

Donco新聞

- 下部組織として12の観光協会
- 湯沢神立エリア
 - ・越後湯沢温泉観光協会
 - ・神立観光協会
 - 湯沢つちたるエリア
 - ・中里観光協会
 - ・岩原観光協会
 - ・湯沢パーク観光協会
 - ・松川観光協会
 - ・土樽観光協会
 - ・飯士高原、原観光協会
 - ・大源太観光協会
 - 苗場かくらエリア
 - ・苗場観光協会
 - ・かくら、みつまた観光協会
 - ・田代・二居観光協会

下部組織として12の観光協会

湯沢町から繰り入れ
毎年8300万円を

湯沢町観光協会
上部組織

湯沢町の観光協会組織図

●加速化交付金 事業内容		申請額	交付額	
・先進的ICT利活用を核とした地域観光プラットフォーム及びインバウンド・イノベーションプロジェクト事業		73,000,000 円	44,650,000 円	実施主体
①ビッグデータ解析		11,500,000 円	11,500,000 円	
1	ローミングデータによる解析	6,000,000	6,000,000	湯沢町
2	Wi-Fi ゲートウェイからの解析	5,500,000	5,500,000	温観
②商品企画造成		7,050,000 円	7,050,000 円	
3	着地型旅行商品開発事業補助金	2,000,000	2,000,000	湯沢町
4	着地型旅行商品開発人材育成	2,500,000	2,500,000	雪国
5	着地型旅行商品開発用備品	1,000,000	1,000,000	町観
6	映像機材購入	950,000	950,000	町観
7	映像撮影編集研修会講師	600,000	600,000	町観
③商品企画造成		22,100,000 円	22,100,000 円	
8	国内外商談会	7,500,000	7,500,000	町観
9	マスコミ、旅行会社招聘	3,000,000	3,000,000	町観
10	SNSによる情報発信	7,500,000	7,500,000	雪国
11	Webスタンプラリー	1,600,000	1,600,000	温観
12	Web広告	1,500,000	1,500,000	温観
13	Web情報発信研修会講師	1,000,000	1,000,000	町観
④受入態勢整備		32,350,000 円	4,000,000 円	
14	ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
15	ICTを活用した免税システム導入	550,000	-	温観
16	最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観
17	海外クレジットカード対応による訪日外国人観光客受入体制整備	500,000	-	温観
18	多言語映像通訳システム導入	5,800,000	-	温観
19	フリーWi-Fiを活用したワンストップゲートウェイ整備	4,500,000	-	湯沢町
20	多言語飲食店マップ、歩行者向け案内看板整備	3,200,000	3,200,000	雪国
21	言語研修会講師	800,000	800,000	町観
合計		73,000,000 円	44,650,000 円	

●加速化交付金を交付されなかった事業		申請額	交付額	交付額
④受入態勢整備		17,000,000 円	0 円	主体
14	ICTを利用した宿泊、飲食予約受付、送客業務受付	4,000,000	-	温観
16	最新CMSを搭載したWebサイト	13,000,000	-	温観

■湯沢議会 12月定例会 一般質問 並木利彦
加速化交付金について

平成28年9月1日の湯沢町議会臨時会の「平成28年度一般会計予算(第3号)について」における発議の方法。これからの行政と議会のあり方について大きな疑問を私は持った。行政側がこのようなやり方をこれからも繰り返すのであれば、行政が間違った方向へ行こうとしているときに議会は止められない。行政が必ずしも正しいことをしているとは限らない。あるときには、行政と町民感覚は、想像以上に大きいこともある。議会は、町民の代表であり、民意を反映させる場所である。その議会が反対できないような発議の方法はよく考えて頂きたい。

今回の加速化交付金処理については、船だけ作って浮かべる海の方が小さくなっている。今回のことは長い目でみれば誰もが良い方向に向かっていない。かけたお金は「死に金」となっている。

では今回の加速化交付金に関連していくつか質問させていただきます。

(質問) 湯沢町の観光の受け皿は、私は湯沢町観光協会だと思うが、町長はそうは思わないのか？

(町長) そうだとは思わない。

(質問) 湯沢町総合戦略の中に実施主体のが観光協会と湯沢町総合計画後期基本計画の実施主体が観光協会はこの観光協会か？

(町長) 湯沢町観光協会

(質問) 湯沢町の観光協会で、1番最初に自立させなければいけない協会は、私は湯沢町観光協会だと考えるが町長はどこだと考えているのか？

(町長) 1番に湯沢町観光協会を自立させなければいけないとは思っていない。

(質問) 今まで、最大いくらのWEBサイト作成補助金を地区観光協会に出していたのか伺う。

(町長) 補助率5/10最大50万円。ここ6年間では補助率5/10で30万円が最高額。

(質問) 私は、観光の受け皿は、私は湯沢町観光協会だと思う。湯沢町総合戦略の実施主体の観光協会と湯沢町総合計画後期基本計画の実施主体の観光協会は湯沢町観光協会。過去の最大のWEBサイト作成補助金は50万円。現在、湯沢町観光協会のホームページの作成費用は150万円。交付が認められなかった加速化交付金事業でのホームページ作成が1300万円、予約システム作成が400万円の合計1700万円の半分の850万円の補助金をどう思うか？

(町長) 越後湯沢温泉観光協会の自立が、湯沢町全体の観光を考えたときに大事だと考え850万円の補助金となった。

(質問) 今、月給20万円の層が湯沢町には多い。年収にして240万円。手取り200万円にはいかず、その

中でやっとの思いで税金を払っている。その税金を、湯沢町観光協会の中の地区観光協会の一つでしかない越後湯沢温泉観光協会に、ホームページの作成費用としての1700万円の半分の850万円を支出しようとしている。こんな不公平な税金の使われ方、町民が許すとお考えですか。

(町長) 28年度中に全部消化させなければならない。合わせて越後湯沢温泉観光協会が半分を出すということで半分の850万円の支出となった。

※今までもWEBサイト作成補助金は、半分地区協会が出し上限は50万円。

(質問) 今回の加速化交付金の申請の説明で、越後湯沢温泉観光協会には、湯沢町観光協会と違い、企画力と事務力があるからそこにやらせたいと説明があった。仮に、そうであったとすれば、担当部長はそんなことを言っていないで、企画力や事務力を湯沢町観光協会に指導しなければならない。企画力があると言っても、担当部長の相談先は、湯沢町温泉観光協会の役員の中に技術屋がいるだけの話で合って、湯沢町観光協会とその技術屋の話を比べるのは、あまりにも納得できない。町長はどう思われるか。

(町長) そのような指摘はあってはならない。

※また湯沢町観光協会に8300万円を出していると答弁。1番自立させなければいけない観光協会はやはり湯沢町観光協会。

(質問) 今回、国会議員に陳情に行くのはかまわないがなぜ、越後湯沢温泉観光協会だけをつれていかれたのか？その中に今回の申請内容、陳情の出席者、8月6日に議員に宜しくお願ひしますと頼んでいる同一人物がいる。詳細をこの人物は、知っていたからこそ議員にお願いできたのだ。このような、行政と湯沢温泉観光協会の中が親密なずぶずぶな関係のなかでどのように査定が行われたのかお教え下さい。

(町長) くわしく承知していない。担当者は妥当と考えている。

※1300万円の高額にもかかわらず第三者の人が査定をしていない。

(質問) CMS搭載のホームページであれば、事務屋が簡単にホームページを作成し情報を発信できる。今回、越後湯沢温泉観光協会が作成するのだが、湯沢町観光協会にも必要になる。順序が逆ではないか？

(町長) 越後湯沢温泉観光協会のシステムを使わせて頂く。

※使えるわけがない。訳がわからないまま、補助金申請を承諾している。850万円の重さも今回のCMS搭載のホームページがどうゆう事なのかもわかっていない。湯沢町観光協会を自立させるには、今回は、ちょうど良い機会であったはずだ。普段から、どこを一番最初に自立させなければならないかを頭に入れておけば、こんな事にはならない。開花八策も作り放し。検証もする気がない。まして今では、どこにも掲載していない。いい加減すぎる。

以上